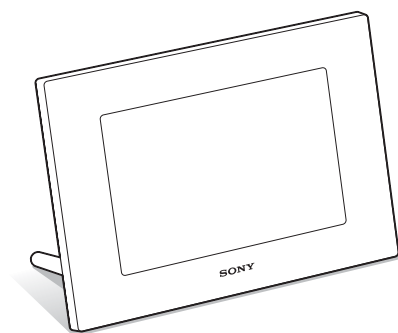
SONY

4-259-442-**01**(1)

デジタルフォト フレーム

DPF-D820/D720/D710

デジタルフォトフレーム　ハンドブック

目次

はじめに

使ってみよう（基本編）

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

コンピューターを使う

エラーメッセージ一覧

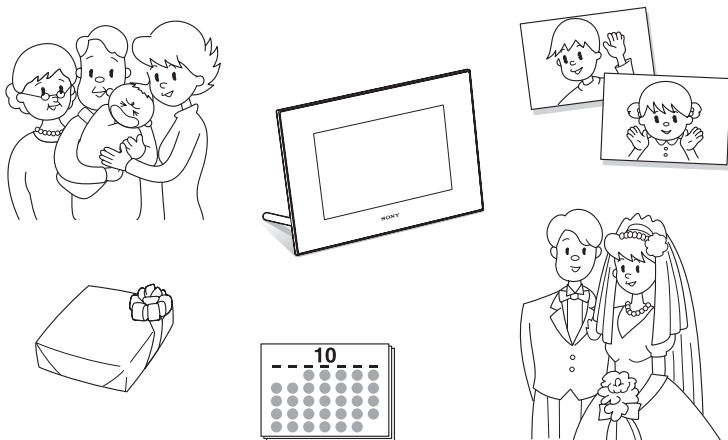
困ったときは

その他

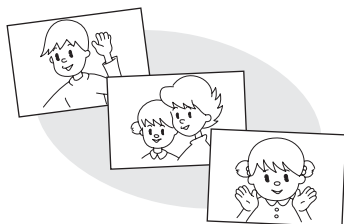
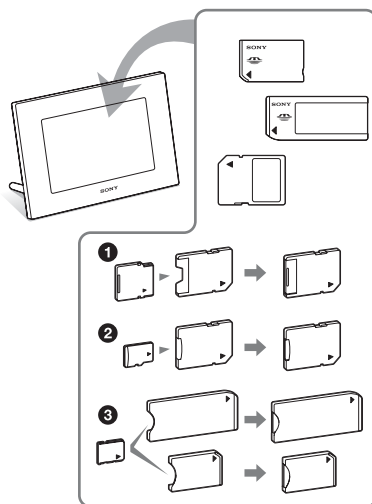
本書のイラスト、画面表示について
特に説明が必要な所を除き、
DPF-D720 を使用しています。

また、本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

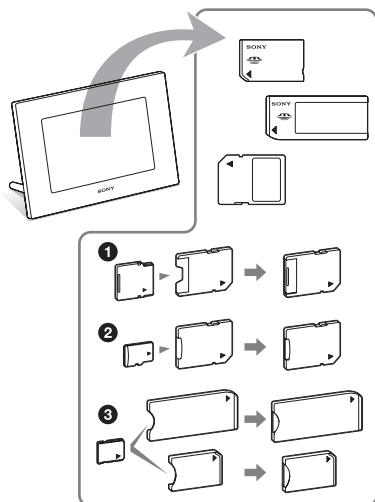
楽しみかたいろいろ、フォトフレーム

ソニーデジタルフォトフレームは、デジタルカメラなどで撮影した画像を、コンピューターを使用せずに簡単にディスプレイに表示できるデジタルフォトフレームです。

特長

- **さまざまな表示機能**
  スライドショー、時計・カレンダー、一枚表示、インデックスを色々なスタイルで表示できます。（13 ページ）

- **多彩なスライドショー**
  まるでアルバムをめくるように、自動的に画像を切り換えて表示します。時計やカレンダーをモチーフとしたスライドショーを含め、複数のスタイルから選べます。また、再生順など、再生条件の設定ができます。（21 ページ）

- **メモリーカードの画像を表示、内蔵メモリーに取り込む**
  デジタルカメラなどから抜いたメモリーカード（“ メモリースティック ”、またはSD メモリーカード）をそのまま差し込むだけで、すぐに画像の表示ができます。メモリーカードの画像は、内蔵メモリーに取り込むことができます。（26 ページ）

* miniSD/miniSDHC❶、microSD/microSDHC❷ または“メモリースティック マイクロ”❸ をお使いの場合は、必ずカードアダプターを装着してください。

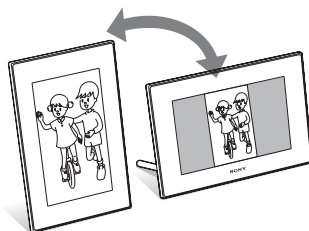
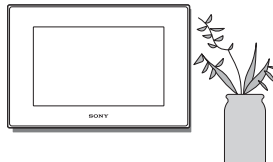
次のページにつづく

• **画像の書き出し**
画像の書き出し機能により、内蔵メモリー内の画像をメモリーカードに書き出せます。(29 ページ)

* miniSD/miniSDHC❶、microSD/microSDHC❷ または“メモリースティック マイクロ”❸ をお使いの場合は、必ずカードアダプターを装着してください。

• **動画再生/音楽(BGM)再生(DPF-D820/D720 のみ)**
写真を見るだけでなく、デジタルカメラで撮った動画を再生したり、思い出の曲を BGM に写真を再生したりして楽しむことができます。楽しかった思い出がより鮮明によみがえります。(20、24 ページ)

• **絞り込み機能**
日付、フォルダー、縦写真/横写真、マーク、動画/写真からお好みの画像を絞り込むことができます。(33 ページ)

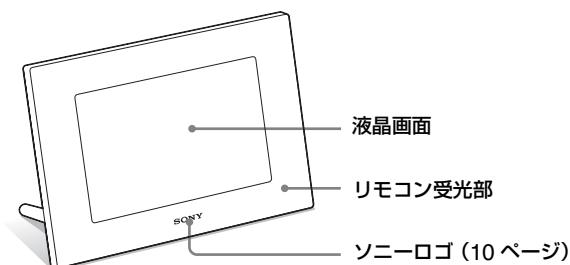
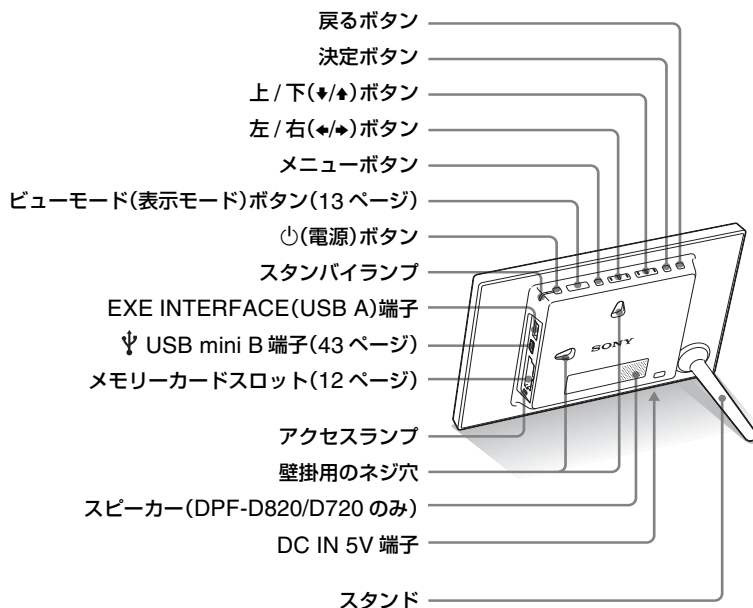
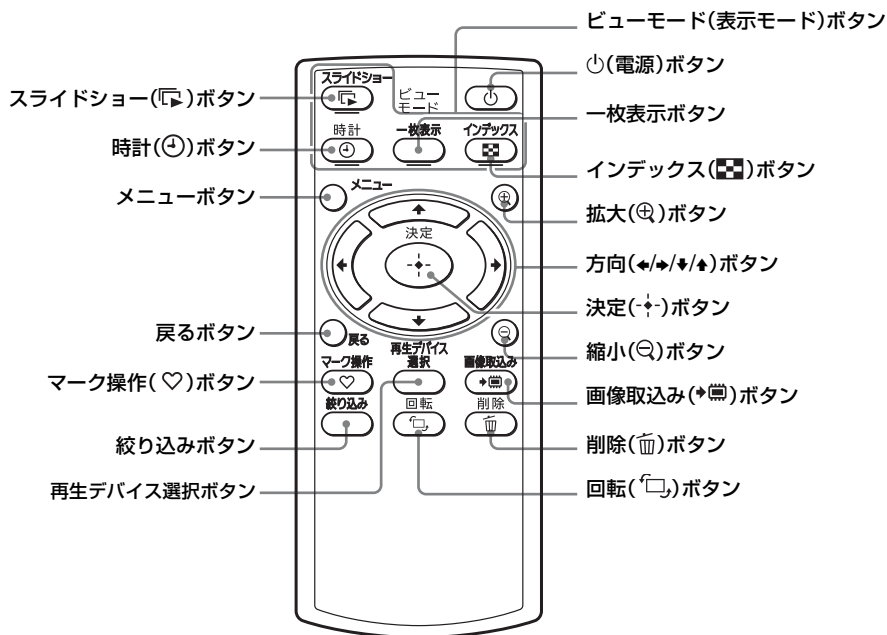
• **縦置き、横置き自由自在**
傾斜センサーにより、フレームの置きかた(縦置き、横置き)に連動して、表示 * が自動的に回転します。(取扱説明書-「スタンド」)

* 動画は、フレームの向きを置き換えても表示は回転しません。(DPF-D820/D720 のみ)

• **壁掛け対応**
本機を壁掛けにしてお楽しみいただけます。(取扱説明書-「スタンド-壁にかけて使用する」)

各部の名前

■ デジタルフォトフレーム

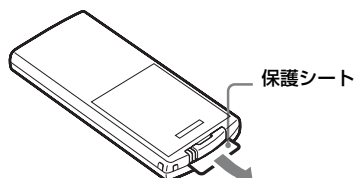
本体前面

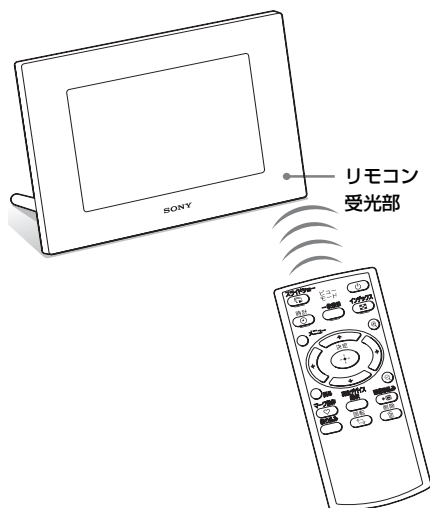
本体背面

次のページにつづく

■ リモコン

本書での説明について
本書では、本体ボタン操作を基本に説明しています。リモコンと本体ボタンで操作が異なる場合は、「ちょっと一言」で説明をしています。

リモコンを準備する

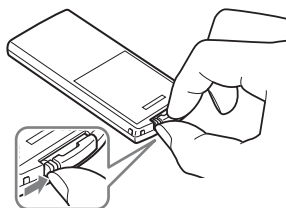
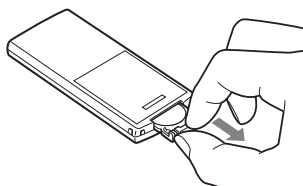
付属のリチウム電池（CR2025）があらかじめリモコンの中に入っています。図のように保護シートを引き抜いてから使用してください。

リモコンを使うときは

リモコンの先端を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

壁掛け使用時は、本体のボタンで操作すると落下の恐れがあります。操作するときは、本体をしっかりと支えながら充分に注意して行ってください。

リモコンの電池を交換するときは

リモコンが動作しなくなったら、新しい電池（CR2025 リチウム電池）に交換してください。

1 タブを内側に押す。

2 電池ホルダーを引き出す。

3 新しい電池を入れ、電池ホルダーを元どおりリモコンに挿入する。

電池の＋が上になるように入れてください。

ご注意

- 指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。
- 使用済みの電池は、自治体の定めた方法で処分してください。
- 高温多湿の場所にリモコンを放置しないでください。
- 電池の交換時などに、リモコン内部に異物が入らないようにしてください。

次のページにつづく

- 電池は正しく使わないと、液漏れや腐敗のおそれがあります。
  – 充電はしないでください。
  – リモコンを長期間使用しないときは、液漏れや腐敗を防ぐため、電池をリモコンから抜いてください。
  – 間違った入れ方をしたり、ショートさせたり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。

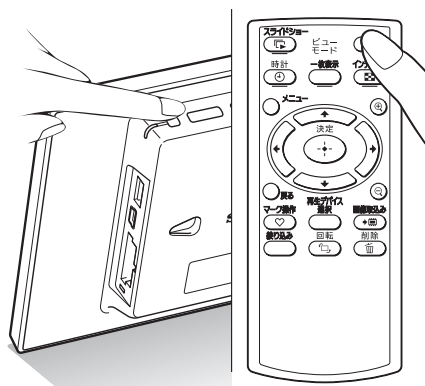
電源を入れる

すでに本機に電源をつなぎ、電源が入っている場合は、ここでの操作は不要です。

電源を入れる

本体の ⏻（電源）ボタンを押します。本体のスタンバイランプが赤から緑に変わります。本体前面の Sony ロゴが点灯します。

リモコンで操作する

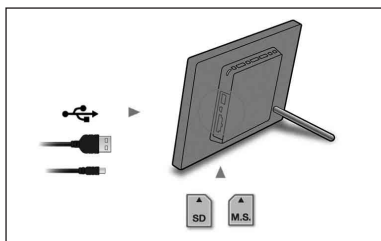
付属のリモコンの ⏻（電源）ボタンでも、電源の入り／切りができます。

電源を切る

本体の ⏻（電源）ボタンを電源が切れるまで押し続けます。本体のスタンバイランプが緑から赤に変わります。

ご注意

電源を切る前、またはスタンバイランプが赤に変わる前に、AC アダプターをコンセントや本機から抜かないでください。故障の原因となることがあります。

初期画面について

メモリーカードを挿入しないで電源を入れると、下の初期画面が表示されます。

何も操作せずに 10 秒が経過すると、デモモードが表示されます。デモモードで電源以外のボタンを押すと、初期画面に戻ります。

まずはじめに、初期画面でメニューボタンを押して、メニュー画面から日時を設定してください。

時刻を設定する

1 **メニューボタンを押す。**

2 **左 / 右（←/→）ボタンで（設定）タブを選ぶ。**

3 **上 / 下（↓/↑）ボタンで［時計設定］を選び、決定ボタンを押す。**

4 **日付を合わせる。**

①上 / 下（↓/↑）ボタンで［日付］を選び、決定ボタンを押す。

②左 / 右（←/→）ボタンで年、月、日を選び、上 / 下（↓/↑）ボタンで数値を設定し、決定ボタンを押す。

5 **時刻を合わせる。**

①上 / 下（↓/↑）ボタンで［時刻］を選び、決定ボタンを押す。

②左 / 右（←/→）ボタンで時、分、秒を選び、上 / 下（↓/↑）ボタンで数値を設定し、決定ボタンを押す。

6 **日付の書式を選ぶ。**

①上 / 下（↓/↑）ボタンで［日付表示順］を選び、決定ボタンを押す。

②上 / 下（↓/↑）ボタンで書式を選び、決定ボタンを押す。

- 年 - 月 - 日
- 月 - 日 - 年
- 日 - 月 - 年

次のページにつづく

7 **カレンダーの開始曜日を設定する。**

カレンダー表示時にカレンダーの左端の曜日を設定することができます。

①上 / 下（⬇/⬆）ボタンで［開始曜日］を選び、決定ボタンを押す。

②上 / 下（⬇/⬆）ボタンで［日曜日］または［月曜日］を選び、決定ボタンを押す。

8 **時間表示を選ぶ。**

①上 / 下（⬇/⬆）ボタンで［12 時間・24 時間表示］を選び、決定ボタンを押す。

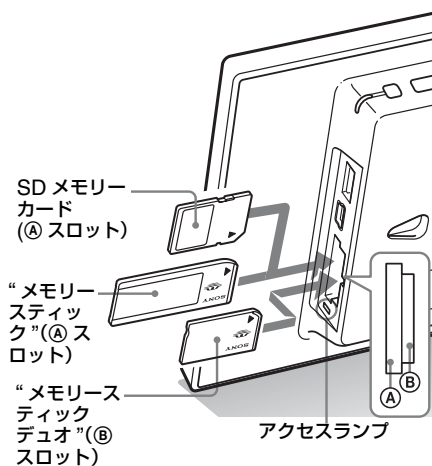
②上 / 下（⬇/⬆）ボタンで時間表示を選び、決定ボタンを押す。

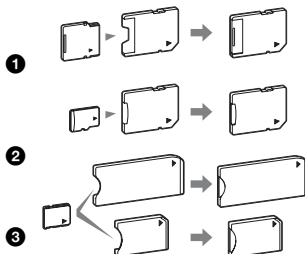
9 **メニューボタンを押す。**

メニュー画面が終了します。

メモリーカードを入れる

本体背面から見て、メモリーカードの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れる。

メモリーカードが正しく挿入されると、アクセスランプが点滅します。アクセスランプが点滅しない場合は、挿入の向きを確認し、再度メモリーカードを差し込んでください。

ご注意

- miniSD/miniSDHC❶、microSD/microSDHC❷ または“メモリースティック マイクロ”❸ をお使いの場合は、必ずカードアダプターを装着してください。

本機で使用できるメモリーカードの詳細については「メモリーカードについて」（51ページ）、表示できるファイルフォーマットに関しては「取扱説明書」をご覧ください。

メモリーカードを挿入すると

メモリーカードを挿入すると、カード内の画像が自動的に表示されます。画像表示中に電源を切った場合は、再度電源を入れると画像は続きから再生されます。

再生デバイスを切り換えるには

「再生デバイスを選択する」（28ページ）をご覧ください。

メモリーカードを取り出すには

本機のそれぞれのスロットから、メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ取り出します。
アクセスランプ点滅中は取り出さないでください。

ご注意

- 本機には、"メモリースティック"スタンダード／デュオ対応スロットが搭載されていますので、"メモリースティック"アダプターは不要です。
- " メモリースティック "（スタンダード／デュオ）／ SD メモリーカード／ MMC 兼用スロットは、自動的にカードタイプを検出します。
- Ⓐ、Ⓑ スロットへ同時にメモリーカードを挿入しないでください。同時に挿入すると、正常に動作しません。

画面表示を切り換える

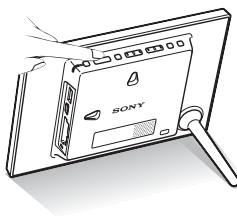
ビューモードボタンで表示スタイルを切り換えることができます。

1 ビューモードボタンを繰り返し押し、お好みのビューモード画面を選択する。

ビューモード画面が表示されます。

表示選択エリア

スタイル選択エリア

次のページにつづく

スライドショー表示
（15 ページ）

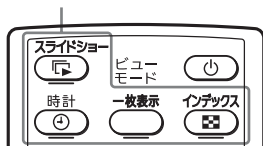
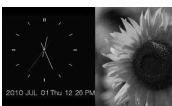
時計・カレンダー表示
（16 ページ）

一枚表示
（17 ページ）

インデックス表示
（18 ページ）

リモコンから操作する

お好みの表示のビューモードボタンを押してください。

ビューモードボタン

押したボタンのビューモード画面が表示されます。

2 左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンでお好みのスタイルを選び、決定ボタンを押す。

選択したスタイルの画面が表示されます。

ちょっと一言

- カーソルが表示選択エリアにあるときは、下（↓）ボタンでカーソルをスタイル選択エリアへ移動させてください。
- 表示されているビューモード画面のリモコンのボタン（スライドショー、時計、一枚表示、インデックス）や、本体のビューモードボタンを繰り返し押して、スタイル選択エリア内でカーソルを移動させることもできます。

ご注意

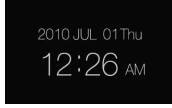
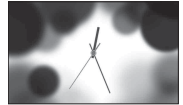
一定時間操作が行われないと、カーソル上のスタイルが自動で決定されます。

スライドショー表示

表示	スタイル	説明
スライドショー	シングル表示	1 つの画面を、次々と表示するスタイルです。
	マルチ表示	複数画像を用いて表示するスタイルです。 ただし、動画は再生せずに、最初のフレームを静止画表示します。
	時計表示	現在の日時を表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。
	カレンダー表示	カレンダーを表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時も表示されます。
	タイムマシン	撮影日時を表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時は表示されません。
	ランダム表示	複数のスライドショーと複数のエフェクトをランダムに切り換えながら表示するスタイルです。 **画像をランダムに表示させる場合** [スライドショー設定]の[シャッフル再生]を[ON]にした場合に利用できます。(22 ページ)

ちょっと一言

- スライドショーの切り換え間隔、エフェクト、再生順の指定、カラー効果、画像表示方法は「スライドショーの設定を変更する」(21 ページ)で設定できます。
- スライドショー中に決定ボタンを押すと、一枚表示画面になります。
- スライドショー中に ⏻(電源)ボタンを使って電源を切った場合、再度電源を入れたときスライドショーの続きから再生されます。

時計・カレンダー表示

時計 1　時計 2　時計 3　時計 4　時計 5

時計 6　時計 7　時計 8　時計 9　時計 10

時計 11

カレンダー1　カレンダー2　カレンダー3

陰暦
カレンダー
（中国語（簡体字）
設定時）

アラビア
カレンダー
（アラビア語設定時）

ペルシア
カレンダー
（ペルシア語設定時）

ご注意

時計･カレンダー表示中は、メニューの（設定）タブのみ操作できます。

一枚表示

表示	スタイル	説明
一枚表示	画像全体	画像全体をそのまま表示します。 左 / 右（◆/◆）ボタンで表示する画像を切り換えます。
	画面いっぱい	画像を画面いっぱいに表示します。 （画像の縦横比によっては、画像のふちの一部が表示されない場合があります。） 左 / 右（◆/◆）ボタンで表示する画像を切り換えます。
	画像全体 （情報表示あり）	画像全体を表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。 左 / 右（◆/◆）ボタンで表示する画像を切り換えます。 表示される画像情報については、「画面に表示される情報」（19 ページ）をご覧ください。
	画面いっぱい （情報表示あり）	画像を画面いっぱいに表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。 （画像の縦横比によっては、画像のふちの一部が表示されない場合があります。） 左 / 右（◆/◆）ボタンで表示する画像を切り換えます。 表示される画像情報については、「画面に表示される情報」（19 ページ）をご覧ください。

インデックス表示

表示	スタイル	説明
インデックス表示	インデックス 1	大きいサムネイルの一覧が表示されます。 左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。
	インデックス 2	サムネイルの一覧が表示されます。 左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。
	インデックス 3	小さいサムネイルの一覧が表示されます。 ←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。

ちょっと一言

- サムネイルとは、デジタルカメラで撮影した画像ファイルに記録されている、見出し用の小さいサイズの画像のことです。
- インデックス表示中、左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンで画像を選び、決定ボタンを押すと、一枚表示画面になります。

画面に表示される情報

次の情報を表示します。

①表示タイプ（一枚表示時）

画像全体
画面いっぱい
画像全体（情報表示あり）
画面いっぱい（情報表示あり）

②表示画像番号／全画像数

表示されている画像の入力メディア情報が表示されます。

表示	意味
	内蔵メモリー
	“ メモリースティック ” 入力
	SD メモリーカード入力

③画像詳細表示

- **写真の場合**
  - ファイル形式（JPEG（4:4:4)、JPEG（4:2:2)、JPEG（4:2:0)、BMP、TIFF、RAW）
  - 画素数（画像の幅×画像の高さ）
  - 画像入力機器のメーカー名
  - 画像入力機器のモデル名
  - 露出時間 （例：1/8）
  - 絞り値（例：F2.8）
  - 露出補正値（例：＋ 0.0EV）
  - 回転情報
- **動画の場合（DPF-D820/D720 のみ）**
  - ファイル形式（AVI、MOV）
  - 画像サイズ（動画の幅×動画の高さ）
  - 再生時間
  - ファイルサイズ

④設定情報

表示	意味
	プロテクト表示
	関連付けファイル表示 （E メール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。）
	マークを付けた場合に表示されます。
	動画ファイル表示（DPF-D820/D720 のみ）

⑤画像番号（フォルダー －ファイル番号）

DCF 準拠の画像の場合、表示されます。

非 DCF の画像の場合、ファイル名が表示されます。ただし、コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、コンピューターなどで作成したファイルは、ファイル名の最初から最大 10 文字が表示されます。

ご注意

英数字のみ表示対象になります。

⑥撮影年月日・撮影時間

動画を再生する（DPF-D820/D720 のみ）

この項目ではリモコンでの操作を基本に説明しています。

1 画像ファイルを選ぶ。

① 1枚表示 ボタンを押す。

② 左 / 右（←/→）ボタンでお好みのスタイルを選び -+- ボタンを押す。

③ 左 / 右（←/→）ボタンで画像を送り、再生したい動画を選択する。

インデックス表示で選ぶ。

① ▦（インデックス）ボタンを押す。

② 左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンで再生したい動画を選択する。

2 決定ボタンを押す。

動画の再生が始まります。

音量を調整する

動画を表示中に上 / 下（↓/↑）ボタンを押してください。

一時停止中でも操作できます。

再生を一時停止する

動画を再生中に -+- ボタンを押してください。

再開するときは、もう一度 -+- ボタンを押してください。

早送り／早戻しする

動画を再生中に左 / 右（←/→）ボタンを押してください。それぞれのボタンを押している間、早送り / 早戻しをすることができます。

ボタンを離すと、そこから再生が始まります。

ただし、動画ファイルによっては、本機で早送り / 早戻しができないものがあります。

再生を停止する

動画を再生中に戻るボタンを押してください。

ご注意

- 次のような動画ファイルは再生できません。
  - ビデオコーデックが MotionJPEG 以外
  - 幅または高さのどちらかが最大サイズを超える動画ファイル

  （上記以外の動画ファイルの動作を保証するものではありません。）
- スライドショー表示中、一時停止、早送り／早戻し操作はできません。
- 早送り / 早戻し操作中、表示中の動画は一時停止します。

スライドショーをもっと楽しむ

1 **ビューモードボタンを繰り返し押し、表示選択エリアで（スライドショー）を選択する。**

（スライドショー）
表示選択エリア
ビューモード - スライドショー
一枚表示
決定 スタイル選択
スタイル選択エリア

リモコンから操作する
（スライドショー）ボタンを押してください。

2 **左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンでお好みのスタイルを選び、決定ボタンを押す。**

ちょっと一言

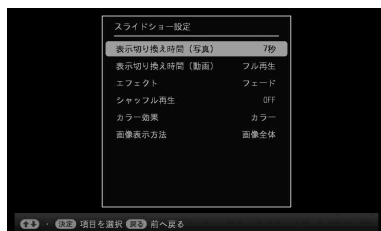
- カーソルが表示選択エリアにあるときは、下（↓）ボタンでカーソルをスタイル選択エリアへ移動させてください。
- 表示されているビューモード画面のリモコンのボタン（スライドショー、時計、一枚表示、インデックス）や、本体のビューモードボタンを繰り返し押して、スタイル選択エリア内でカーソルを移動させることもできます。

詳しくは、「スライドショー表示」（15 ページ）をご覧ください。

スライドショーの設定を変更する

1 **メニューボタンを押す。**

2 **左 / 右（←/→）ボタンで（設定）タブを選ぶ。**

3 **上 / 下（↓/↑）ボタンで［スライドショー設定］を選び、決定ボタンを押す。**

4 **上 / 下（↓/↑）ボタンで変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

設定項目については、次ページの表をご覧ください。

ご注意

- メモリーカードからスライドショーを行う場合は以下にご注意ください。
  – メモリーカードはデバイスの特性上、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。
  – 少ない枚数での長時間のスライドショーはデータエラーの原因になりますのでおやめください。

– メモリーカード内の画像の定期的なバックアップをお勧めします。

- スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目は灰色で表示され、選択できません。
- スタンバイモードにせずに電源を切ったり、リセットするとスライドショーは最初から始まります。
- 周囲の明るさに比べ、明るすぎる状態の画面を注視すると気分が悪くなる可能性があります。明るさの設定に注意してご使用ください。

項目	設定	内容	
スライドショー設定	切り換え間隔（DPF-D710）	画像を切り換える間隔を 3 秒、7 秒*1、20 秒、1 分、5 分、30 分、1 時間、3 時間、12 時間、24 時間の間で設定します。	
	表示切り換え時間（写真）（DPF-D820/D720）	画像を切り換える間隔を 3 秒、7 秒*1、20 秒、1 分、5 分、30 分、1 時間、3 時間、12 時間、24 時間の間で設定します。	
	表示切り換え時間（動画）（DPF-D820/D720）	動画を切り換える間隔を、先頭からの再生時間で設定します。再生時間は、先頭 10 秒、先頭 15 秒、先頭 30 秒、先頭 1 分、先頭 3 分、フル再生*1 の中から設定します。	
	エフェクト	センタークロス	前の画像を十字型に開いて、画像を切り換えます。
		ブラインド縦	ブラインドを縦に下ろすように、画像を切り換えます。
		ブラインド横	ブラインドを横に引くように、画像を切り換えます。
		フェード*1	2 枚の画像をフェードアウト、フェードインで切り換えます。
		ワイプ	一方向へ前の画像を上から覆うように、画像を切り換えます。
		ランダム	上記の 5 種類のエフェクトをランダムに使用して画像を切り換えます。
	シャッフル再生	ON	画像をランダムに表示します。
		OFF*1	本体設定の画像表示順に従って画像を表示します。
	カラー効果	カラー*1	画像をカラーで表示します。
		セピア	画像をセピアで表示します。
		モノクロ	画像をモノクロで表示します。

*1: 工場出荷時の設定

*2: スライドショーのスタイルや画像サイズ、カラー効果によっては、設定した切り換え間隔で画像が切り換わらないことがあります。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">スライド
ショー
設定</td><td rowspan="3">画像表示方法</td><td colspan="2">表示サイズを次のいずれかから選びます。

ご注意
• 画像データ自体は変更されません。
• 動画再生時は、常に画像全体が表示されます（DPF-D820/720 のみ）。</td></tr>
<tr><td>画像全体*[1]</td><td>画像全体を適切な大きさまで拡大して表示します。（上下左右に黒い帯が表示されることがあります。）</td></tr>
<tr><td>画面いっぱい</td><td>画像の縦横比はそのままで、上下左右を一部カットして画面いっぱいに表示します。

ご注意
スライドショーのスタイルによっては、設定したサイズで表示されないことがあります。</td></tr>
</table>

*1: 工場出荷時の設定

スライドショーを音楽といっしょに再生する（DPF-D820/D720 のみ）

音楽を取り込む

1 音楽ファイルの入ったメモリーカードを挿入する。

2 メニューボタンを押し、左 / 右（←/→）ボタンで 🧰（設定）タブを選び、上 / 下（↓/↑）ボタンで［スライドショー BMG 設定］を選ぶ。

3 上 / 下（↓/↑）ボタンで［BGM 取り込み］を選び、決定ボタンを押す。

4 上 / 下（↓/↑）ボタンで、手順 1 で挿入したメモリーカードを選択する。

5 音楽ファイル一覧から、上 / 下（↓/↑）ボタンで取り込みたい音楽ファイルを選び、決定ボタンを押す。

選んだ音楽ファイルにチェックマーク「✔」が付きます。

6 複数の音楽ファイルを選択したい場合は、手順 5 を繰り返す。

ちょっと一言

選択したファイルを解除するときは、解除したい音楽ファイルを選択して決定ボタンを押してください。チェックマーク「✔」が消えます。

7 音楽ファイルの選択が終わったら、メニューボタンを押す。

8 確認画面が表示されたら決定ボタンを押す。

選んだ音楽ファイルが内蔵メモリーに取り込まれます。

ちょっと一言

内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルを削除するには、手順 2 の［スライドショー設定］画面で［BGM 削除］を選び［決定］を押します。
表示された音楽ファイル一覧から、↓/↑ ボタンで削除したい音楽ファイルを選び［決定］を押すと、選んだ音楽ファイルにチェックマーク「✔」が付きます。メニューボタンを押して確認画面が表示されたあと、決定ボタンを押すと選んだ音楽ファイルが削除されます。

ご注意

- 取り込んだ音楽ファイルは、スライドショーの BGM としてのみ再生可能です。
- 再生できるのは内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルのみです。
- 内蔵メモリーに取り込める音楽ファイルは、最大で 40 曲です。
- 音楽ファイル取り込み選択画面では、200 曲まで表示できます。
- 音楽ファイルは、ファイル名のみ表示します。曲名やアーティスト名は表示できません。

再生する音楽を選択する

1 メニューボタンを押し、左 / 右（←/→）ボタンで 🧰（設定）タブを選び、上 / 下（↓/↑）ボタンで［スライドショー BGM 設定］を選ぶ。

2 上 / 下（↓/↑）ボタンで［BGM 選択］を選び、決定ボタンを押す。

3 取り込んだ音楽ファイルの一覧から、上 / 下（↓/↑）ボタンで再生し

たい音楽ファイルを選び、決定ボタンを押す。
選んだ音楽ファイルにチェックマーク「✔」が付きます。

4 **複数の音楽ファイルを選択したい場合は、手順3を繰り返す。**

5 **メニューボタンを押す。**
ビューモードでスライドショーを選択すると、チェックマーク「✔」をつけた音楽が再生されます。

スライドショーで音楽を再生する

内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルを、静止画のスライドショーの際にBGMとして再生するための設定です。

1 **メニューボタンを押し、左/右（←/→）ボタンで（設定）タブを選び、上/下（↓/↑）ボタンで［スライドショーBGM設定］を選ぶ。**

2 **上/下（↓/↑）ボタンで［BGM ON/OFF］を選び、決定ボタンを押す。**
「BGM ON」：スライドショー中にBGMが再生されます。
「BGM OFF」：スライドショー中にBGMは再生されません。

ご注意
- BGMの早送り／早戻し、曲順の変更はできません。
- 動画再生時、BGMは再生されません。動画の音声が再生されます。また、動画の後の静止画では、次のBGMの最初から再生されます。
- [BGM ON/OFF]を[ON]に設定した場合でも、再生したい音楽ファイルが選択されていなければ、BGMは再生されません。
- 内蔵メモリーに登録されているBGM1、BGM2、BGM3は削除できません。

項目	設定	内容	
スライドショーBGM設定	BGM ON/OFF	ON*	スライドショー中にBGMが再生されます。
		OFF	スライドショー中にBGMは再生されません。
	BGM選択	内蔵メモリー内の音楽ファイルが表示され、BGMを選択します。（BGM1*、BGM2*、BGM3*）	
	BGM取込み	メモリースティック、SDメモリーカード、USB外部機器から、BGM用の音楽ファイルを内蔵メモリーに取り込みます。	
	BGM削除	内蔵メモリーに取り込まれている音楽ファイルを削除します。	

*：工場出荷時の設定

リフレッシュモード
（DPF-D820/D720 のみ）

内蔵メモリーに保存された画像は、デバイスの特性上、時間の経過や読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。

本機は、このようなエラーを防ぐため、ご使用状況に応じて自動で内蔵メモリーのリフレッシュを行います。
リフレッシュが必要なタイミングになると、リフレッシュ画面が自動で表示されます。
「はい」を選択、または 30 秒間無操作で自動的に開始します。
「いいえ」を選択すると、再度必要なタイミングでリフレッシュ画面が表示されます。

内蔵メモリーのリフレッシュ中は、本機の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
リフレッシュには 5 分程度かかる場合があります。

ご注意

- 内蔵メモリー内の画像データは、こまめにバックアップをとってください。
- 10 枚以下の画像数で、スライドショー切り換え間隔が 3 秒での継続したご使用はお控えください。内蔵メモリーの画像を保護できない場合があります。

メモリーカードから内蔵メモリーに画像を取り込む

大切な画像を、内蔵メモリーに保存することによって、電子アルバムとして使用できます。

ちょっと一言

- 内蔵メモリーに保存する画像のサイズを最適化するか、圧縮せずに保存するかをあらかじめ[画像取り込みサイズ]で設定できます（40 ページ）。
- [リサイズ]の場合、約 4000 枚（DPF-D820/D720）／約 250 枚（DPF- D710）保存できます。
  [原画サイズ]の場合、画像のサイズによって保存できる枚数が変わります。

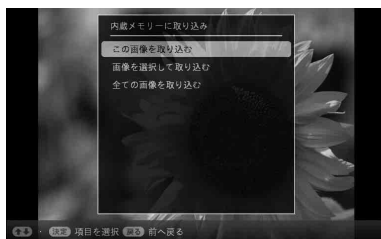
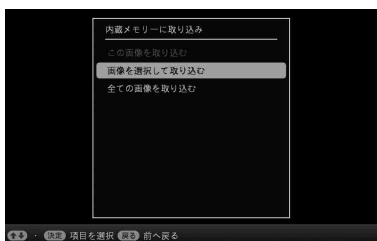
1 メモリーカードの画像を表示した状態でメニューボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

リモコンから操作する

メモリーカードの画像を表示した状態でリモコンの （画像取込み）ボタンを押すだけで、手順 2 の内蔵メモリーに取込み画面が表示されます。手順 3 へ進んでください。

2 左/右（←/→）ボタンで （画像操作）を選択してから、上 / 下（↓/↑）ボタンで [内蔵メモリーに取り込み] を選択し、決定ボタンを押す。

一枚表示の場合

スライドショーの場合

インデックス表示の場合

3 上/下（↓/↑）ボタンで、［この画像を取り込む］、［画像を選択して取り込む］、または、［全ての画像を取り込む］を選び、決定ボタンを押す。

［この画像を取り込む］を選ぶと、現在選択している画像を内蔵メモリーに取り込みます。手順6へ進んでください。
（スライドショー選択時は［この画像を取り込む］は選択できません。）
［画像を選択して取り込む］を選ぶと、画像一覧が表示され、取り込みたい画像を選択できます。手順4へ進んでください。
［全ての画像を取り込む］を選ぶと、すべての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順5へ進んでください。

4 画像一覧から、左/右、上/下（←/→/↓/↑）ボタンで取り込みたい画像を選び、決定ボタンを押す。

選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像を同時に取り込みたい場合は、この操作を繰り返します。

選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し決定ボタンを押すと「✔」が消えます。

5 メニューボタンを押す。

フォルダー選択画面が表示されます。

6 上/下（↓/↑）ボタンで保存先のフォルダーを選び、決定ボタンを押す。

画像取り込みの確認画面が表示されます。

次のページにつづく

ちょっと一言

［新規］を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

7 上 / 下（↓/↑）ボタンで、［はい］を選び、決定ボタンを押す。

画像が内蔵メモリーの指定フォルダーに保存されます。

8 確認画面が表示されたら、決定ボタンを押す。

ご注意

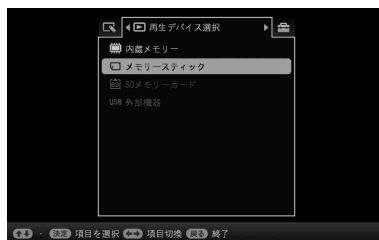
- 内蔵メモリーの画像は「内蔵メモリーに取り込み」ができません。
- 内蔵メモリーに取り込み中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  – 電源を切る。
  – メモリーカードを抜く。
  – 他のメモリーカードを挿入する。
- 動画ファイルは、本体操作で内蔵メモリーに取り込みができません。動画を内蔵メモリーに取り込みたい場合は、本機をコンピューターと接続し、コンピューターの動画を本機の内蔵メモリーにコピーしてください。詳しくは、「コンピューターに接続する」（43 ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

画像一覧でリモコンの拡大 / 縮小ボタンを使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。

再生デバイスを選択する

メモリーカードや内蔵メモリーなど、表示するデバイスを指定することができます。

1 メニューボタンを押し、左 / 右（←/→）ボタンで ▶（再生デバイス選択）タブを選ぶ。

リモコンから操作する

再生デバイス選択ボタンを押してください。

ちょっと一言

選択したいメモリーカードが挿入されていない場合は、ここで挿入してください。

ご注意

時計·カレンダー表示中は、▶（再生デバイス）タブを選択できません。

2 上 / 下（↓/↑）ボタンで表示したい再生デバイスを選び、決定ボタンを押す。

選択した再生デバイスの画像が表示されます。

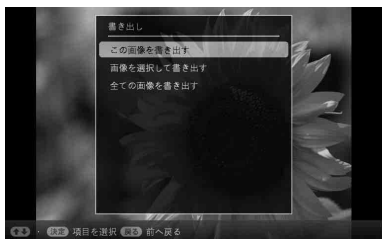
内蔵メモリーからメモリーカードへ画像を書き出す

内蔵メモリーに取り込んだ画像を、メモリーカードに書き出せます。

1 内蔵メモリーの画像を表示した状態でメニューボタンを押す。

2 左 / 右（←/→）ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。

3 上 / 下（↓/↑）ボタンで［書き出し］を選び、決定ボタンを押す。

一枚表示の場合

4 上 / 下（↓/↑）ボタンで、［この画像を書き出す］、［画像を選択して書き出す］または、［全ての画像を書き出す］を選び、決定ボタンを押す。

［この画像を書き出す］を選ぶと、現在選択している画像を書き出します。手順 7 へ進んでください。
（スライドショー選択時は［この画像を書き出す］は選択できません。）
［画像を選択して書き出す］を選ぶと、画像一覧が表示され、書き出したい画像を選択できます。手順 5 へ進んでください。
［全ての画像を書き出す］を選ぶと、すべての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 6 へ進んでください。

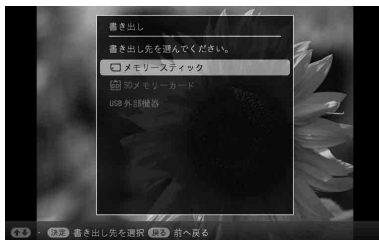
5 画像一覧から、左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンで書き出したい画像を選び、決定ボタンを押す。

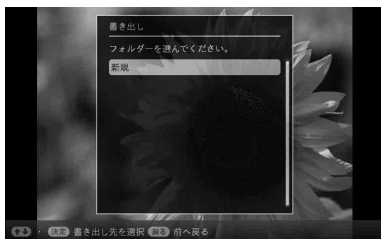
選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像を同時に書き出したい場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し決定ボタンを押すと「✔」が消えます。

6 メニューボタンを押す。

書き出すメモリーカードを選択する画面が表示されます。

7 上 / 下（↓/↑）ボタンで、画像を書き出すメモリーカードを選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

8 **上 / 下（↓/↑）ボタンで保存先のフォルダーを選び、決定ボタンを押す。**

書き出しの確認画面が表示されます。

ちょっと一言

[新規] を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

9 **上 / 下（↓/↑）ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**

画像が書き出されます。

10 **確認画面が表示されたら決定ボタンを押す。**

画像が指定したメモリーカードにコピーされます。

ご注意

画像の書き出し中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。

– 電源を切る。
– メモリーカードを抜く。
– 他のメモリーカードを挿入する。

ちょっと一言

- 画像一覧でリモコンの拡大/縮小ボタンを使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。
- 本機に認識されないメモリーカードは灰色で表示され、選択できません。

画像を削除する

1 **削除したい画像を表示した状態でメニューボタンを押す。**

リモコンから操作する

削除したい画像を表示した状態でリモコンの🗑（削除）ボタンを押すだけで、手順 2 の画像削除画面が表示されます。手順 3 へ進んでください。

2 **左 / 右（←/→）ボタンで（画像操作）を選択してから、上 / 下（↓/↑）ボタンで［削除］を選択し、決定ボタンを押す。**

3 **上 / 下（↓/↑）ボタンで、［この画像を削除］、［画像を選択して削除］、［全ての画像を削除］を選び、決定ボタンを押す。**

［この画像を削除］を選ぶと、現在選択している画像を削除します。手順 6 へ進んでください。
（スライドショー選択時は［この画像を削除］は選択できません。）
［画像を選択して削除］を選ぶと、画像一覧が表示され、削除したい画像を選択できます。手順 4 へ進んでください。
［全ての画像を削除］を選ぶと、すべての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 5 へ進んでください。

4 **画像一覧から、左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンで削除したい画像を選び、決定ボタンを押す。**

選択された画像には「✔」がつきます。

複数の画像を同時に削除したい場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し決定ボタンを押すと「✔」が消えます。

5 メニューボタンを押す。
削除の確認画面が表示されます。

6 上 / 下（↓/↑）ボタンで、[はい] を選び、決定ボタンを押す。
画像が削除されます。

7 削除が終わり、確認画面が表示されたら決定ボタンを押す。

ご注意

- 画像を削除中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  – 電源を切る。
  – メモリーカードを抜く。
  – 他のメモリーカードを挿入する。
- ［プロテクトファイルは削除できません。］というメッセージが表示された場合、その画像はコンピューターで属性を「読み取り専用」に設定されています。本機では削除できないため、コンピューターに接続して、コンピューター上で削除してください。
- 内蔵メモリー初期化のすぐあとでも、内蔵メモリーの総容量と残容量は同じにはなりません。
- 削除を開始すると、途中で中止しても削除した画像を元に戻すことはできません。削除するときは、画像をよく確認してから削除を実行してください。

ちょっと一言

画像一覧でリモコンの拡大 / 縮小ボタンを使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。

内蔵メモリーを初期化するには

1 メニューボタンを押す。
2 左 / 右（←/→）ボタンで（設定）タブを選ぶ。
3 上 / 下（↓/↑）ボタンで［工場出荷状態に戻す］を選び、決定ボタンを押す。
4 上 / 下（↓/↑）ボタンで［内蔵メモリーの初期化］を選び、決定ボタンを押す。
初期化の確認画面が表示されます。
5 上 / 下（↓/↑）ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

画像にマークを付ける

お好みの画像にマークを付けることによりマークを付けた画像のみを表示してスライドショーなどお楽しみいただけます。マークをインデックスや一枚表示から簡単に確認できます。

1 **画像を表示した状態でメニューボタンを押す。**

リモコンから操作する
画像を表示した状態でリモコンの（マーク操作）ボタンを押すだけで、手順 2 のマーク操作画面が表示されます。手順 3 へ進んでください。

2 **左 / 右（←/→）ボタンで（画像操作）を選択してから、上 / 下（↓/↑）ボタンで［マーク操作］を選択し、決定ボタンを押す。**

3 **上 / 下（↓/↑）ボタンでお好みのマークを選び、決定ボタンを押す。**

4 **上 / 下（↓/↑）ボタンで、［この画像に付ける］、［画像を選択してマーク操作］または、［全ての画像に付ける］を選び、決定ボタンを押す。**
［この画像に付ける］を選ぶと、現在選択している画像にマークを付けます。
（スライドショー選択時は［この画像に付ける］は選択できません。）
［画像を選択してマーク操作］を選ぶと、画像一覧が表示され、マークを付ける画像を選択できます。手順 4 へ進んでください。
［全ての画像に付ける］を選ぶと、すべての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 5 へ進んでください。

5 **画像一覧から、左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンでマークを付ける画像を選び、決定ボタンを押す。**
選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像に同時にマークを付ける場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し、**決定**ボタンを押すと「✔」が消えます。

画像一覧での絞り込みについて
絞り込み実行中：
絞り込みの条件に当てはまる画像を一覧表示します。
絞り込み解除時：
現在表示されている画像の入ったデバイスの画像を一覧表示します。
（絞り込みについては、33 ページをご覧ください。）

6 **メニューボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

7 **上 / 下（↓/↑）ボタンで、［はい］を選び、決定ボタンを押す。**

選択した画像にマークがつきます。

登録したマークをはずすには

手順 3 で［この画像から外す］または、［全ての画像から外す］を選び、**決定**ボタンを押します。また、「✔」を解除することで、マークをはずすことができます。

- この画像から外す：現在選択されている画像からマークを削除します（スライドショー選択時は選べません。）
- 全ての画像から外す
  現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像からマークを削除します。
  絞り込み中の場合
  絞り込みの条件に当てはまる全画像からマークを削除します。

ご注意

マークは内蔵メモリーの画像に設定した場合のみ保存されます。
メモリーカードの画像に設定したマークは、電源を切ったり再生デバイスの切り換えを行なうと解除されます。

ちょっと一言

- 3 種類からマークを選択できます。
- 画像一覧でリモコンの拡大/縮小ボタンを使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。

画像を絞り込む

内蔵メモリーまたはメモリーカードの中の画像を日付、フォルダー、縦写真／横写真、マーク、動画／写真などの条件から絞り込めます。

1 **画像を表示した状態でメニューボタンを押す。**

リモコンから操作する

画像を表示した状態でリモコンの**絞り込み**ボタンを押すだけで、手順 2 の絞り込み表示画面が表示されます。手順 3 へ進んでください。

2 **左 / 右（←/→）ボタンで（画像操作）を選択してから、上 / 下（↓/↑）ボタンで［絞り込み表示］を選択し、決定ボタンを押す。**

3 **上 / 下（↓/↑）ボタンで絞り込み条件を選び、決定ボタンを押す。**

- 日付で絞り込む：
  日付から画像を絞り込みます。
- フォルダーで絞り込む：
  フォルダーから画像を絞り込みます
- 縦写真／横写真で絞り込む：
  画像の向きから画像を絞り込みます。

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

次のページにつづく

- マークで絞り込む：
  マークの種類から画像を絞り込みます。
- 動画／写真で絞り込む（DPF-D820/D720 のみ）：
  動画のみ、または静止画／画像のみを絞り込みます。

4 **左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。**

絞り込みを解除するには

絞り込んだ画像を表示中にメニューボタンを押して、［絞り込み解除］を選び、**決定**ボタンを押します。

絞り込み条件を変更するには

絞り込んだ画像を表示中に戻るボタンを押します。

ご注意

- 絞り込み中に電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。
- 次の場合は、絞り込みが自動的に解除されます。
  - 再生デバイスを変更したとき
  - メモリーカードの画像を絞り込み、そのメモリーカードを抜いたとき

画像サイズと位置を調整する

画像を拡大／縮小する

一枚表示中にお好みの画像を拡大 / 縮小できます。

1 **一枚画面表示中にメニューボタンを押す。**

2 **左 / 右（←/→）ボタンで （画像操作）タブを選ぶ。**

3 **上 / 下（↓/↑）ボタンで［拡大表示］を選び、決定ボタンを押す。**

4 **上 / 下（↓/↑）ボタンで、倍率を選び、決定ボタンを押す。**

倍率は 1.5 倍から、最大 5 倍まで選択できます。拡大した画像は上下左右に移動できます。

リモコンから操作する

一枚表示中に、拡大するにはリモコンの⊕（拡大）ボタンを、拡大したものを縮小するには⊖（縮小）ボタンを押します。

拡大／縮小後の画像を保存するには

①画像を拡大／縮小した状態でメニューボタンを押す。

②上 / 下（↓/↑）ボタンで保存方法を選ぶ。
［新規保存］を選ぶと元の画像とは別に保存されます。手順 ③ へ進んでください。
［上書き保存］を選ぶと元の画像に置き換えて保存されます。手順 ⑤ へ進んでください。

③上 / 下（↓/↑）ボタンで拡大／縮小した画像を保存するデバイスを選び、決定ボタンを押す

④上 / 下（⬇/⬆）で保存先のフォルダーを選び、決定ボタンを押す。

⑤上 / 下（⬇/⬆）で［はい］を選び、決定ボタンを押す。
画像が保存されます。

⑥保存の確認画面が表示されたら決定ボタンを押す。

ちょっと一言

手順 ① で拡大した画面を左 / 右、上 / 下（⬅/➡/⬇/⬆）ボタンで動かした状態でメニューボタンを押すと、表示されている画面がトリミングされた状態で保存されます。

ご注意

- JPEG ファイル（拡張子：.jpg）以外は、上書き保存ができません。
- 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
- 動画ファイルは拡大・縮小できません。

画像を回転する

一枚表示中にお好みの画像を回転させて表示できます。

1 **一枚画面表示中にメニューボタンを押す。**

2 **左 / 右（⬅/➡）ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。**

3 **上 / 下（⬇/⬆）ボタンで［回転］を選び、決定ボタンを押す。**

4 **上 / 下（⬇/⬆）ボタンで、回転角度を選び、決定ボタンを押す。**
回転角度は、時計回りに 90 度、180 度、270 度の 3 種類から選ぶことができます。

リモコンから操作する

リモコンの（回転）ボタンを押しても、画像を回転させることができます。ボタンを押すたびに画像が反時計回りに 90 度回転します。

ちょっと一言

- 内蔵メモリーの場合、画像を回転させた情報は、電源を切ったあとも保持されます。
- インデックス表示の画像も回転できます。

ご注意

動画ファイルは回転できません。

自動電源 ON/OFF の設定を変更する

電源が入っている場合、自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定できます。

1 メニューボタンを押す。

2 左 / 右（←/→）ボタンで（設定）タブを選ぶ。

3 上 / 下（↓/↑）ボタンで設定を［自動電源 ON/OFF 設定］を選び、決定ボタンを押す。

［自動電源 ON/OFF 設定］の画面が表示されます。

4 上 / 下（↓/↑）ボタンで［設定方法］を選び決定ボタンを押し、上 / 下（↓/↑）ボタンで［シンプル設定］、［詳細設定］または［オートオフ設定］を選び、決定ボタンを押す。

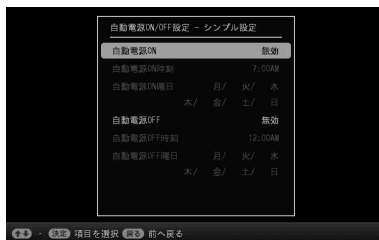
［シンプル設定］：1 分単位で自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。

［詳細設定］：曜日別に、1 時間単位で自由に自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。

［オートオフ設定］：電源を入れたあと、無操作のまま一定時間経過すると自動的に電源を切ることができます。

時間は 2 時間または 4 時間から選択できます。

5 上 / 下（↓/↑）ボタンで設定を［時間設定］を選び、決定ボタンを押す。

シンプル設定の場合

① 時間設定をしたい項目を選ぶ。

上 / 下（↓/↑）ボタンで［自動電源 ON］または［自動電源 OFF］を選び決定ボタンを押し、上 / 下（↓/↑）ボタンで［有効］を選び決定ボタンを押します。

② 自動電源 ON/OFF 機能を使用したい時刻を設定する。

上 / 下（↓/↑）ボタンで［自動電源 ON 時刻］または［自動電源 OFF 時刻］を選び、決定ボタンを押します。
左 / 右（←/→）ボタンで時、分を選び、上 / 下（↓/↑）ボタンで数値設定をし、決定ボタンを押します。

③ 自動電源 ON/OFF 機能を使用したい曜日を設定する。

上 / 下（↓/↑）ボタンで［自動電源 ON 曜日］または［自動電源 OFF 曜日］を選び、決定ボタンを押します。
上 / 下（↓/↑）ボタンで機能を使いたい曜日を選び、決定ボタンでチェックをつけます。
上 / 下（↓/↑）ボタンでカーソルを［OK］へ移動し、決定ボタンを押します。

詳細設定の場合

① 左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンで自動電源 ON/OFF 機能を使用したい時間を選ぶ。
月曜日から日曜日まで 1 時間単位で選択します。
決定ボタンを押すと選択した時間帯が青色になります。青色の時間帯は本機の電源が ON となります。青色の時間帯を選んで決定ボタンを押すと、灰色になります。灰色の時間帯に本機の電源が OFF になります。

ちょっと一言

使用中でも自動電源 OFF の時間となると、電源は自動的に OFF となります。また、スタンバイ中に自動電源 ON の時間となると自動的に電源が ON になります。

② 左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンで［OK］を選ぶ。

オートオフ設定の場合

上 / 下（↓/↑）ボタンで［2 時間］、［4 時間］または［無効］を選び、決定ボタンを押します。

6 **メニューボタンを押す。**

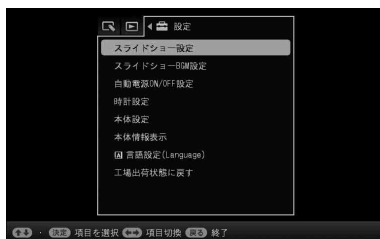
設定を変更する

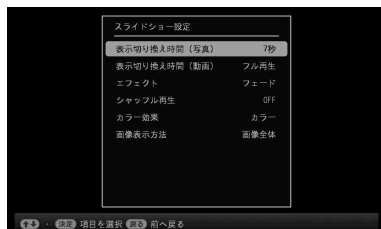
下記の設定を行うことができます。

- スライドショー設定
- スライドショー BGM 設定（DPF-D820/D720 のみ）
- 自動電源ON/OFF設定
- 時計設定
- 本体設定（画像表示順、Sony ロゴ点灯など）
- 言語設定
- 工場出荷状態に戻す

設定手順

1 **メニューボタンを押す。**

2 **左 / 右（←/→）ボタンで（設定）タブを選ぶ。**

3 **上 / 下（↓/↑）ボタンで設定を変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

選択した項目の設定画面が表示されます。

次のページにつづく

（[スライドショー設定］を選んだ場合）

4 上 / 下（↓/↑）ボタンで変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。

それぞれの項目が設定できるようになります。（39 ページ）

ご注意

スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目はグレーで表示され、選択できません。

5 上 / 下（↓/↑）ボタンで設定値を選び、決定ボタンを押す。

上 / 下（↓/↑）ボタンを押すたびに、設定値が切り換わります。数値の場合は、上（↑）ボタンで増え、下（↓）ボタンで減ります。

決定ボタンを押すと、設定内容が確定されます。

6 メニューボタンを押す。

メニューが終了します。

設定を工場出荷時に戻すには

1 メニューボタンを押して、左 / 右（←/→）ボタンで（設定）タブを選ぶ。

2 上 / 下（↓/↑）ボタンで［工場出荷状態に戻す］を選び、決定ボタンを押す。

3 上 / 下（↓/↑）ボタンで［設定の初期化］を選び、決定ボタンを押す。

時計設定の日付と時刻以外の設定値を工場出荷時の設定に戻します。

設定項目

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>スライドショー設定</td><td colspan="3">「スライドショーの設定を変更する」（21 ページ）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>スライドショーBGM 設定（DPF-D820/D720 のみ）</td><td colspan="3">「スライドショーを音楽といっしょに再生する」（24 ページ）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">自動電源ON/OFF設定</td><td rowspan="4">詳細設定*</td><td colspan="2">曜日別に、1 時間単位で自由に自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。</td></tr>
<tr><td>OK</td><td>自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、操作を確定し、前画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>キャンセル</td><td>自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、操作を中止し、前画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>全て解除</td><td>自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、選択した時間をすべて削除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">シンプル設定</td><td colspan="2">自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定します。1 分単位で自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。（36 ページ）</td></tr>
<tr><td>自動電源ON</td><td>有効にすると、自動的に電源を入れる時刻と曜日を設定できます。</td></tr>
<tr><td>自動電源OFF</td><td>有効にすると、自動的に電源を切る時刻と曜日を設定できます。</td></tr>
<tr><td></td><td>オートオフ設定</td><td colspan="2">電源を入れたあと、無操作のまま一定時間経過すると自動的に電源を切るための設定ができます。
無効を選ぶと、オートオフ設定は働きません。</td></tr>
<tr><td>時計設定</td><td colspan="3">日付や時刻、カレンダー表示の開始曜日などを設定します。（11 ページ）</td></tr>
</table>

＊：工場出荷時の設定

次のページにつづく

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="8">本体設定</td><td rowspan="3">画像表示順</td><td colspan="2">画像を表示する順番を設定します。設定した項目がスライドショー設定の再生順に反映されます。</td></tr>
<tr><td>撮影日時順</td><td>撮影日時順に画像を表示します。</td></tr>
<tr><td>画像番号順*</td><td>画像番号順に画像を表示します。</td></tr>
<tr><td>自動縦横判別</td><td colspan="2">本体の向きに合わせて表示を切り換える機能を ON * /OFF に設定します。</td></tr>
<tr><td>バックライトの明るさ</td><td colspan="2">液晶画面のバックライトの明るさを 1 〜 10 *のレベルで設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画像取り込みサイズ</td><td>リサイズ*</td><td>メモリーカードから画像を取り込む際に、画像をリサイズして内蔵メモリーに保存します。より多くの画像を保存できます。ただし、コンピューターなどを使用して大型モニターに表示した場合、元の画像よりも、画質が劣化します。</td></tr>
<tr><td>原画サイズ</td><td>画像を圧縮せずにそのまま内蔵メモリーに保存します。画質の劣化はありませんが、保存できる画像の枚数が少なくなります。</td></tr>
<tr><td>Sony ロゴ点灯</td><td colspan="2">本機の Sony ロゴの点灯を ON * /OFF で設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">本体情報表示</td><td>バージョン</td><td colspan="2">本機のファームウェアのバージョンが表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">内蔵メモリー</td><td>総容量</td><td>初期状態において内蔵メモリーで利用可能な最大容量が表示されます。</td></tr>
<tr><td>残容量</td><td>現在使用可能な内蔵メモリーの空き容量が表示されます。</td></tr>
<tr><td>言語設定</td><td colspan="3">液晶画面に表示される言語を設定します。
日本語*／英語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／イタリア語／ロシア語／韓国語／中国語(簡体字)／中国語(繁体字)／オランダ語／ポルトガル語／アラビア語／ペルシア語／ハンガリー語／ポーランド語／チェコ語／タイ語／ギリシャ語／トルコ語／マレー語／スウェーデン語／ノルウェー語／デンマーク語／フィンランド語
ご注意
工場出荷時の言語設定は、お買い上げの地域により異なることがあります。</td></tr>
</table>

*：工場出荷時の設定

項目	設定	内容
工場出荷状態に戻す	内蔵メモリーの初期化	内蔵メモリーを初期化します。 **ご注意** • 初期化を実行すると、内蔵メモリーに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。 • コンピューターなど他の機器を使って初期化しないでください。
	設定の初期化	すべての設定値を工場出荷時の設定に戻します。 ただし、時計設定の日付と時刻の設定は保持されます。

＊：工場出荷時の設定

USB メモリーの画像を表示する

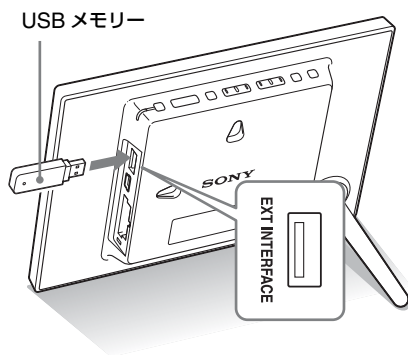
USB メモリーに保存されている画像を表示することができます。

ご注意

- すべてのUSBメモリーとの接続を保証するものではありません。
- 内蔵メモリーの再生中、USB A端子にUSBメモリーを接続すると、表示するデバイスはUSB 外部機器に切り換わります。

1 **AC アダプターを本機につなぎ、コンセントに差し込む。（別冊「取扱説明書」－「電源を入れる」）**

2 **本機の電源を入れる。（10 ページ）**

3 **USB メモリーを本機の EXT INTERFACE（USB A）端子に接続する。**

4 **再生デバイス選択で USB 外部機器を選ぶ。（28 ページ）**

USB メモリー内の画像が表示されます。

スライドショーを行いたい場合は 21 ページ、内蔵メモリーに追加を行いたい場合は 26 ページをご覧ください。

ご注意

- アクセスランプが点滅中に、USB メモリーを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。USB メモリーのデータを破損する場合があります。データの破損、消失については責任を負いかねます。
- 指紋認証やパスワードなどによって暗号化、圧縮された USB メモリーのデータは、本機ではご使用になれません。
- EXT INTERFACE（USB A）端子に USB メモリーを接続しているときに、同時に USB mini B 端子とコンピューターを接続しないでください。
- USBハブやUSBハブを内蔵したUSB機器は正常に動作しない場合があります。

コンピューターに接続する

本機とコンピューターをつなぎ、コンピューターから本機の内蔵メモリーの画像を閲覧、コピーしたり、コンピューターの画像を本機にコピーすることができます。

必要なシステム構成

本機と接続してお使いになるには、以下の推奨動作環境を満たしたコンピューターが必要です。

■ Windows

推奨 OS:　Microsoft Windows 7/ Windows Vista SP2/ Windows XP SP3

ポート　USB ポート

■ Macintosh

推奨 OS:　Mac OS X（v10.4 以降）

ポート　USB ポート

ご注意

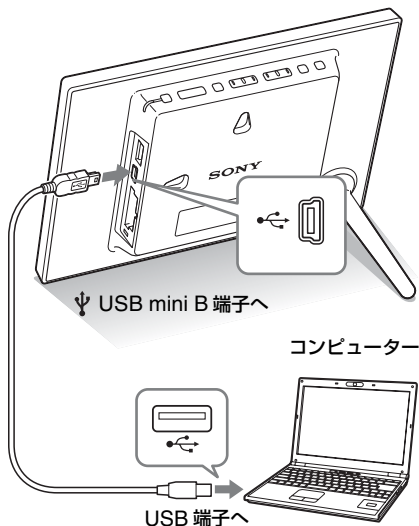
- 1 台のコンピューターに複数の USB 接続をしたり、またはハブを使用した場合は、不具合が発生することがあります。
- 同時に接続された他の USB 機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中は USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- 推奨環境を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。
- USB 接続については、コンピューターおよび、ソニー製デジタルフォトプリンターとの接続で動作確認を行っています。その他の機器に接続した場合、内蔵メモリーを参照できない場合があります。
- EXT INTERFACE（USB A）端子に USB メモリーまたは外部部機器を接続しているときに、同時に USB mini B 端子とコンピューターを接続しないでください。

コンピューターと接続して画像をやりとりする

ご注意

Microsoft Windows Vista での接続例です。お使いの OS により、画面表示、操作方法は異なることがあります。

1 **AC アダプターを本機につなぎ、AC アダプターをコンセントに差込む。（別冊「取扱説明書」－「電源を入れる」）**

2 **コンピューターと本機を USB ケーブルで接続する。**

ご注意

USB ケーブルは、長さ 3m 未満の B-TYPE をお使いください。

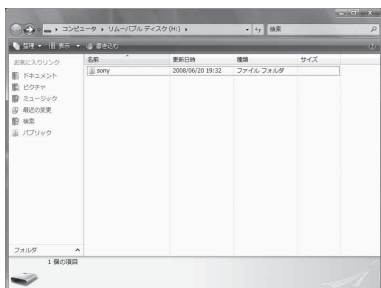
3 **本機の電源を入れる。（10 ページ）**

次のページにつづく

4 **コンピューターの画面に［自動再生］画面が表示されたら、［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックする。**

［自動再生］画面が表示されない場合は、「コンピュータ（マイコンピュータ）」からリムーバブルディスクを選び、開いてください。

5 **カーソルをウィンドウの中に移動して右クリックし、［新規作成］→［フォルダ］をクリックする。**

作成したフォルダに名前をつけます。ここでは仮に「sony」としています。

6 **作成した「sony」フォルダーを開く。**

7 **コピーしたい画像ファイルが保存されているフォルダーを開き、ドラッグ・アンド・ドロップで「sony」フォルダーにファイルをコピーする。**

ご注意

- コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作って、そのフォルダーに保存してください。フォルダーを作成せずに保存できる画像ファイル数は、最大512枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少する場合があります。
- コンピューター上で画像ファイルを編集または保存すると、撮影日時の情報が変更されたり失われる場合があり、インデックス表示などが撮影日時の順番で表示されないことがあります。
- コンピューター内の画像ファイルを、本機の内蔵メモリーに保存する場合、画像ファイルは圧縮されずに保存されます。そのため、本機の内蔵メモリーに保存できる画像の枚数が少なくなる場合があります。
- コンピューター上で作製、加工した画像ファイルは、本機では表示できない場合があります。また、コンピューター上で「読み取り専用」属性に設定されている画像ファイルは、本機では削除できません。保存する前に属性を変更してください。

コンピューターとの接続を切断する

以下の手順でコンピューターとの接続を切断してからUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ってください。

1 **タスクトレイの（切断）をダブルクリックする。**

2 **（USB大容量記憶装置デバイス）→［停止］をクリックする。**

3 **取りはずすドライブを確認して、［OK］をクリックする。**

エラーメッセージが表示されたら

本機の液晶画面に次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。以下に従って対処してください。

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>意味／処理</th></tr>
<tr><td>メモリースティック／ SD メモリーカードがありません。</td><td>• メモリーカードがそれぞれのスロットに入っていません。メモリーカードをそれぞれのスロットに入れてください。（12 ページ）</td></tr>
<tr><td>非対応メモリースティック／ SD メモリーカードが挿入されています。</td><td>• 非対応のメモリーカードが挿入されています。本機に対応しているメモリーカードをお使いください。</td></tr>
<tr><td>画像がありません。</td><td>• メモリーカードに本機で表示できる画像ファイルがありません。本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードをお使いください。</td></tr>
<tr><td>プロテクトファイルは削除できません。</td><td>• プロテクトファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラやコンピューターでプロテクト設定を解除してください。</td></tr>
<tr><td>プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう 1 度実行してください。</td><td>• メモリーカードが書き込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。（52 ページ）</td></tr>
<tr><td>メモリースティック／ SD メモリーカード／内蔵メモリーが容量不足です。</td><td>• メモリーカードまたは内蔵メモリーの容量が一杯のため、追加保存できません。画像を削除するか、容量のあるメモリーカードをお使いください。</td></tr>
<tr><td>メモリースティック／ SD メモリーカード／内蔵メモリーにエラーがあります。</td><td rowspan="2">• メモリーカードの場合
何らかのエラーが発生しています。メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードの状態をご確認ください。
• 内蔵メモリーの場合
内蔵メモリーは初期化を行なってください。

ご注意
初期化を実行すると、内蔵メモリーに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。</td></tr>
<tr><td>メモリースティック／ SD メモリーカード／内蔵メモリーへの書き込みエラーです。</td></tr>
<tr><td>読み出し専用のメモリースティックです。</td><td>• 読み出し専用の“メモリースティック”が挿入されています。書き出しを行うには、書き込みのできる“メモリースティック”を挿入してください。</td></tr>
</table>

次のページにつづく

エラーメッセージ	意味／処理
メモリースティックは保護されています。	• 保護されている "メモリースティック" が挿入されています。画像の編集、保存を行う場合は、お手持ちの機器で保護を解除してください。
サポートしていないフォーマットです。	• メモリーカードの場合は、ご使用のデジタルカメラなどでフォーマットを行ってからご使用ください。 • 内蔵メモリーの場合は、本機で初期化してください。 **ご注意** 初期化すると中のファイルはすべて削除されます。
この画像を開くことが出来ません。	• 本機でサポートしていないフォーマットの画像ファイルは、本機では表示したり開くことができません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグは正しく差し込んでありますか？	➔ 正しく接続してください。

画像を表示する

「電源は入っているが画像が表示されない。」または、「操作画面の設定ができない。」こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
画面に画像が表示されない。	• メモリーカードは正しく接続されていますか？	➔ 正しく接続してください。（12 ページ）
	• メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？	➔ 画像の入っているメモリーカードを入れてください。 ➔ 表示可能なファイルフォーマットを確認してください。（別冊「取扱説明書」－「主な仕様」）
	• ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？	➔ DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
撮影日時順に表示されない。	• コンピューターから保存した画像ではありませんか？ • コンピューターで編集した画像ではありませんか？	➔ コンピューター上で保存すると、ファイルの更新日時が変更されるため、撮影日時ではなく、保存された日時の順番で画像が表示されることがあります。
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で画像が表示されていますか？	➔ インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、1 枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。 ➔ DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？ • コンピューターのアプリケーションで作成した画像ではありませんか？	→ 左のマークが表示されている場合は、コンピューターで作成した JPEG ファイルなど、本機が対応していない画像ファイルか、対応している画像ファイルでも、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データ部分がない画像ファイルです。このマークを選択し、決定ボタンを押して一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、表示はできません。
	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？	→ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。このマークを選択し、決定ボタンを押して一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は表示はできません。
	• 内蔵メモリー、メモリーカード内の画像枚数が 4,999 枚を超えていませんか？	→ 本機で再生、保存、削除など、扱える画像ファイル数は最大で 4,999 枚です。
	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
	• メモリーカード内に8階層を超えるフォルダーがありませんか？	→ 8階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。
ファイル名が正しく表示されない。	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、コンピューターなどで作成したファイルは、ファイル名の最初から最大 10 文字が表示されます。 **ご注意** 英数字のみ表示対象になります。

動画を再生する

症状	チェック項目	対処方法
画面に動画が再生されない。	• インデックス表示、一枚表示で下のマークが表示されていますか？	➔ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応していない動画ファイルです。本機で再生できない動画ファイルに関しては、「動画を再生する」（20 ページ）をご覧ください。
早送り / 早戻しができない。	−	➔ 動画ファイルによっては、本機で早送り／早戻しができないものがあります。

画像を保存、削除する

症状	チェック項目	対処方法
保存できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	➔ 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	➔ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• メモリーカードが一杯になっていませんか？	➔ 不要な画像を削除してください。（30 ページ）または、充分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。
	• 内蔵メモリーが一杯になっていませんか？	➔ 不要な画像を削除してください。（30 ページ）
	• フォルダーを作成せずにコンピューターから画像を保存していませんか？	➔ フォルダーを作成していない場合、保存できる画像ファイル数は最大 512 枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少することがあります。コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存してください。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
削除できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	➔ お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	➔ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• “メモリースティック -ROM”ですか？	➔ “メモリースティック -ROM”については、画像の削除と初期化はできません。
	• プロテクトされた画像ではありませんか？	➔ 一枚表示画面から撮影情報表示を確認してください。（19 ページ） ➔ マークのある画像は読み取り専用画像です。本機からは削除できません。
誤って消してしまった。	ー	➔ 1 度削除したファイルは元に戻せません。

本体

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない。	ー	➔ 電源を一度切り、再度入れなおしてください。（10 ページ）

リモコン

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない。	• 電池は入っていますか？	➔ 電池を交換してください。（9 ページ） ➔ 電池が入っていません。（9 ページ） ➔ 電池が正しく入っていません。（9 ページ）
	ー	➔ リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。（9 ページ） ➔ 本体リモコン受光部の近くには物を置かないでください。
	• 保護シートが入っていませんか？	➔ 保護シートを引き抜いてください。（9 ページ）

メモリーカードについて

" メモリースティック "

本機でお使いになれる " メモリースティック "

本機では以下の"メモリースティック"をご使用になれます。*1

" メモリースティック " の種類	表示	削除・保存
" メモリースティック "*2（マジックゲート非対応）	○	○
" メモリースティック "*2（マジックゲート対応）	○ *5	○ *5
"マジックゲートメモリースティック "*2	○ *5	○ *5
" メモリースティック PRO" *2	○ *5	○ *5
" メモリースティック PRO-HG" *2	○ *5*6	○ *5*6
" メモリースティック マイクロ "*3("M2"*4)	○ *5	○ *5

*1 本機は FAT32 に対応しています。32GB までのソニー製 " メモリースティック " で動作確認を行っています。ただし、すべての " メモリースティック " メディアの動作を保証するものではありません。

*2 本機には、スタンダード／デュオ サイズ対応スロットが搭載されています。" メモリースティック デュオ " アダプターなしで、標準サイズの " メモリースティック "、小型の " メモリースティック デュオ " のどちらでもご使用いただけます。

*3 " メモリースティック マイクロ"を本機でお使いの場合は、必ず" メモリースティック マイクロ"を"M2" アダプターに入れてからお使いください。

*4 "M2"は、"メモリースティック マイクロ"の略称です。本文では今後略称 "M2" を用いて記述します。

*5 著作権保護技術(" マジックゲート ")が必要なデータの読み込み、記録はできません。" マジックゲート " とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。

*6 本機は、8 ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。

使用上のご注意

- 使用可能な"メモリースティック"についての最新情報は、ホームページ上の「" メモリースティック " 対応表」をご確認ください。（裏表紙）
- 複数の"メモリースティック"を同時に挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- " メモリースティック マイクロ " を本機でお使いの場合は、必ず " メモリースティック マイクロ " を "M2" アダプターに入れてからお使いください。
- "M2" アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、" メモリースティック マイクロ " が取り出せなくなる可能性があります。
- デュオサイズの"M2"アダプターに"メモリースティック マイクロ " を入れ、それをさらにメモリースティック デュオアダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。
- "メモリースティック"を初期化するときは、ご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。コンピューターでフォーマットした場合、画像が表示されないことがあります。
- フォーマットを実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。

次のページにつづく

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると保存、削除ができなくなります。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。

SD メモリーカード

本機では下記をご使用になれます。
- SD メモリーカード [*1]
- miniSD カード、microSD カード（アダプターが必要です）[*2]
- SDHC メモリーカード [*3]
- miniSDHC カード、microSDHC カード（アダプターが必要です）[*2]
- MMC 規格メモリーカード [*4]

ただし、すべての SD メモリーカード、MMC 規格メモリーカードの動作を保証するものではありません。

*1 2GB までの SD メモリーカードで動作確認を行っています。
*2 市販のカードアダプタによっては、裏面中央部に端子が出ているものがあります。本機では、このようなタイプのアダプターは正しく動作しない場合があります。
*3 32GBまでのSDHCメモリーカードで動作確認を行っています。
*4 2GBまでのMMC規格メモリーカードで動作確認を行っています。

使用上のご注意

- 著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。
- SDXC メモリーカードはご使用になれません。

カード使用上のご注意

- 正しい挿入方向をお確かめのうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
- メモリカードを挿入するとき、無理な力を加えると、メモリーカードまたは本機を破損するおそれがあります。
- データの読み込み、書き込み中、アクセス中に、メモリーカードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- コンピューターで加工した画像は、再生できないことがあります。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

索引

アルファベット順

五十音順